

パキスタン・イスラム共和国地震災害に対する
国際消防救助隊の派遣について（第11報）

平成17年10月21日14時00分
消 防 庁

1 地震の概要

- (1) 発生日時：平成17年10月8日12時50分頃
（現地時間10月8日8時50分頃）
- (2) 地震の規模：M7.6
- (3) 震源地：パキスタン・イスラム共和国 イスラマバード北北東約95キロ

2 派遣期間および派遣先

平成17年10月9日（日）～10月18日（火）
パキスタン・イスラム共和国 北西辺境州 バタグラム郡

3 派遣隊の構成

国際緊急援助隊救助チーム 49名
（警察庁・消防庁・海上保安庁・外務省・JICA等からなる混成チーム）

うち

国際消防救助隊 13名

（内訳）総務省消防庁	1名
東京消防庁	6名
横浜市消防局	3名
船橋市消防局	2名
茨城西南地方広域 市町村圏事務組合消防本部	1名

4 派遣経過

10月8日（土）

パキスタン政府より、我が国政府に対して援助要請があり、日本国政府が国際緊急援助隊救助チームの派遣を決定したことを受けて、消防庁長官が国際消防救助隊の派遣を同日21時00分に決定。

10月9日（日）

8時30分 国際緊急援助隊救助チーム結団式（成田空港）
10時46分 成田空港出発（TG671）

（以降現地時間）

23時35分 パキスタン・ラホール空港に到着。

10月10日（月）

- 0時35分 パキスタン・ラホール空港から、陸路ラウルピンディのチャクワル空軍基地に向けて出発。
- 7時15分 チャクワル空軍基地到着。
- 9時40分 パキスタン軍ヘリコプターにより北西辺境州バタグラム郡へ出発。
- 11時05分 バタグラム郡へ到着。
- 12時54分 同郡内のチャタグラムに向けて移動、調査活動を開始。
- 15時25分 同郡内の病院崩壊現場にて救助活動開始。
- 19時00分 救助活動を一時中断。翌早朝から活動を再開する予定。

10月11日（火）

- 9時00分 バタグラム郡の病院崩壊現場（第1現場）にて救助活動再開。
- 11時45分 同病院の別の場所（第2現場）で救助活動開始。
- 12時30分 第1現場の救助活動終了。要救助者なし。
- 13時05分 活動拠点から13km離れたバターモーリーという地点へ団長含む2名が調査に出発。
- 15時14分 団長他が調査地点から戻る。
- 17時30分 第2現場では要救助者なし。これをもって本日の活動終了。翌早朝から活動を再開する予定。

10月12日（水）

- 7時05分 バターモーリーに向けて出発。
- 8時30分 バターモーリーに到着。情報収集開始。
- 9時08分 救助活動開始。
- 14時15分 女性の遺体を収容。14時20分家族により身元確認。
- 17時20分 全隊活動終了。ベースキャンプ到着。
翌早朝から、チャパグラムに向けて移動し活動予定。

10月13日（木）

- 8時10分 先遣隊、活動候補地チャパグラムへ出発。
- 8時21分 先遣隊チャパグラム到着。情報収集の結果、要救助者なし。
- 9時00分 先遣隊、活動拠点に帰還。
- 9時42分 2班に分かれ、バターモーリー及びゴルゲラへ出発。
- 10時33分 バターモーリー班現地到着。行方不明者は住民により救出済み。ソールバザールへ移動し情報収集。
- 10時46分 ゴルゲラ班現地到着。情報収集中、要救助者がいるとの情報を入手。全隊でゴルゲラへ向かう。
- 11時27分 地元住民と協力し、女性の遺体収容。
- 12時20分 女性の遺体収容。家族等に引き渡す。
- 13時45分 全隊活動終了。

10月14日（金）

- 16時45分 イスラマバードの宿舎に到着。

10月15日（土）

- 11時00分 UNOCHA（国連人道問題調整事務所）へ活動報告。
- 18時00分 在パキスタン日本大使館へ活動報告。

10月16日（日）

- 16時30分 イスラマバード空港へ向け宿舎を出発。
- 19時00分 イスラマバード空港を出発。
- 20時55分 カラチに到着

10月17日（月）

- 2時55分 バンコクに向けカラチを出発

10月18日（火）

- 6時30分 バンコクを經由し、成田空港に到着
- 8時00分 国際緊急援助隊解団式
- 11時00分 総務省において国際消防救助隊解隊式